

- 1月1日(月)
 - 災害対策本部立ち上げ
- 1月6日(土)~7日(日)
 - 能登エリアの該当組合員へ配送休止のお詫びや安否確認の電話連絡
- 1月8日(月)~9日(火)
 - 地域担当者が安否確認とカタログ配布のため組合員宅を訪問
 - 配送できなかった飲料水やバナナ、パンなどを提供。給水所へ行けない組合員へコープの飲料水をお渡しした。
- 1月10日(水)~
 - 七尾市、志賀町、中能登町、羽咋市での配送開始
- 1月15日(月)~
 - 全国の生協職員によるのとセンター配送同乗支援開始
- 1月17日(水)~
 - 奥能登での配送再開に向けて道路状況の確認、再開希望組合員へカタログ配布
- 1月29日(月)~
 - 共済加入組合員へのお見舞い訪問開始

今回の特集は

令和6年能登半島地震 みんなの声



発災以降、みんながさまざまな思いを持って、いろんな立場から互いを気遣い合ってきました。被災した組合員、能登へ心を寄せる組合員、傷ついた組合員に向き合う地域担当者、それを支える県外から駆け付けた全国の生協職員、遠くから思いを届けてくれる全国の職員や組合員。それぞれが日々書き記した思いや会話、行動を「声」で振り返ります。

※振り返りシート…地域担当者が書く日報

1月



志賀町担当 清谷 泰典さん
 わずかな支援物資を積んで担当地域に入りました。ペットボトル1本の水に喜んでいただき何とも言えない気持ちになりました。長くお話しされる組合員さんも多く、できる限りゆっくり最後までお話しさせていただきました。
 1月8日(月)の振り返りシートより

七尾市・中能登町・志賀町担当 橋屋 好美さん
 1週間、無事に終えたことにホッとしています。配送同乗してくれた他生協の大木さん、小池さんにまずは感謝です。組合員さんとも一緒にお話ししたり今の状況を一緒に共有したりと、すごく心強かったです。また来週行ったときに組合員さんと笑顔で会えるように頑張ります。
 1月19日(金)の振り返りシートより

中能登町担当 川岸 蓮さん
 「地震で家の中もぐちゃぐちゃで壁もはがれて、もうだめかもと思ったけど生協が来てくれて元気が出た」と喜んでくれました。明日も水が足りない方、震災に遭われた方に声をかけて少しでも協力できたらいいなと思います。
 1月11日(木)の振り返りシートより

みやぎ生協石巻センター 組合員さん
 震災から10年以上が経過して今は当たり前のように普通に生活していますが、当時は不安がなく一日一日どうやって生活するか必死でした。大丈夫です。なんとかなりますから。頑張ってください。
 みやぎ生協石巻センターからのメッセージ集より

生協くまもとの支援職員
 「地震が起こってから注文する元気もなかった」とおっしゃる組合員さんもいました。水が復旧していない中、貴重な水でコーヒーを出してくれた組合員さんもいて、身体も心もとても温かくなった一日でした。
 1月31日(水)の支援者活動日報より

志賀町の組合員さん
 元日に襲った地震。余震も続く中、不安な毎日。1月9日、いつもの時間に生協の車が止まり、ヘルメットを被った笑顔の配達。注文の品は届かなかったけど、甘いチョコレートパンとジュースをもらった。何よりもその笑顔に元気をもらった。ありがとうございます。
 とらいあんぐるおたよりより

中島町・田鶴浜町担当 竹本 貴博さん
 コープこうべの福山さんとペアでコースをまわりました。37歳同級生ということで意気投合し、車中では仕事からプライベートまでいろんな話をしました。福山さんがいなかったら、心細くて1人では心がもたないなと思いました。本当に助かりましたし、心からありがとうございます。
 1月19日(金)の振り返りシートより

志賀町富来担当 北野 智恵さん
 いつも笑顔で迎えてくださる組合員さん。今日も笑顔で迎えてくれたけど話してるうちに涙ぐまれて…。無理しとるんやろな～強がってるんやろな～と思いました。私は何もできず…ごめんなさい。ただ本当に無理だけはしないでほしいです。
 1月29日(月)の振り返りシートより

鳥取県生協からの支援職員
 職員さんは避難所生活にもかかわらずご自身の大変な状況はいっさい口にせず、組合員さんの様子を丁寧に聞き取り、心を寄せておられる姿がとても印象的でした。
 1月29日(月)の支援者活動日報より

中能登町の組合員さん
 七尾市も被害が大きかったのに、商品を配達してもらえたのは他の地域の生協さんの支援のおかげだったんですね。休まず配達してもらえてとても心強かったです。
 とらいあんぐるおたよりより

2月



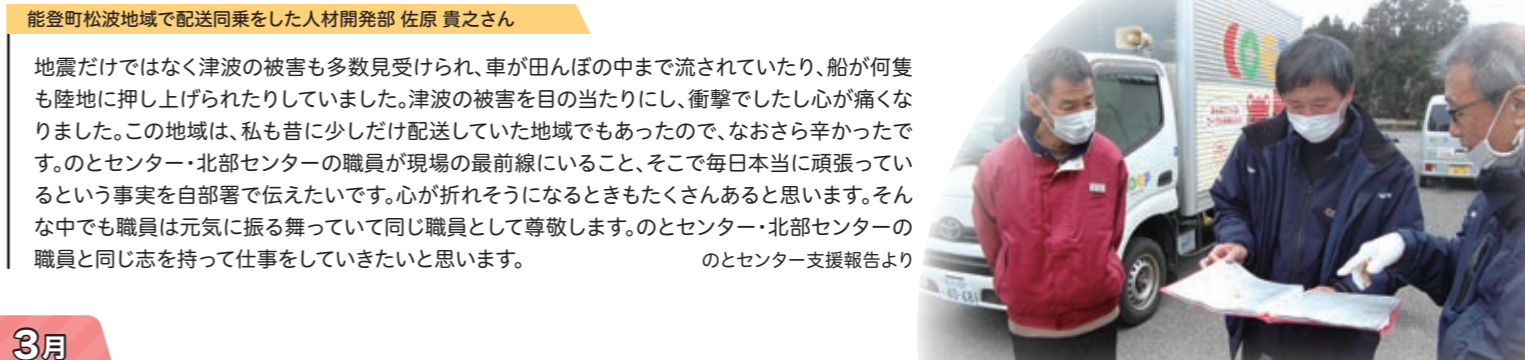
輪島市担当 坂井 宏人さん
 トラックが着いたとたんに家から飛び出して来られて「来てくれたんや…」と涙ぐんだ組合員さんがいらっしゃいました。よっぽど待っててくれたのか…と嬉しかったです。
 2月15日(木)の振り返りシートより

金沢市の組合員さん
 生協さんを含め、災害救援のために支援してくださっている方々、本当にありがとうございます。自分はずっと変わらない生活を送っていますが、皆さまのお気持ちがありがたく、涙が出ます。日常が1日も早く送ることができるよう、祈っています。
 とらいあんぐるおたよりより

七尾市の組合員さん
 今配達してくれる人がいろんな生協からの応援と聞いてありがたいと思っています。災害はいつあるかわかりません。一日一日感謝と思いやりを持って過ごしたいです。
 とらいあんぐるおたよりより

CO・OP共済 お見舞い訪問 支援職員
 「地震が起きて、いろんな人が応援してくれてありがたい。物だけじゃなくて、人の気持ちがすごく嬉しい。これからどうしたらいいかわからないけれど、一步一步頑張るしかないかなあ」と、絶望的な気持ちをお話されました。神戸の地震のときも全国の知らない多くの方に支えてもらって、なんとか持ち直した話をし、少しだけですが、寄り添って話をお聞きし、元気になってもらいたいことをお伝えできたかなと思います。
 コープ共済連 お見舞い訪問報告より

コープあきたからの支援職員
 組合員さんに「各地からたくさんの方が能登に来てくれる。日本中が支えてくれる。気持ちが沈みがちだったけど、それを実感できて嬉しい。来てくれてありがとう」と言われました。同乗した担当者からも「一緒にいてくれて心強かったです」と言われ、被災地域の人々の心に少しでも寄り添うことができたかなと思いました。秋田からでもできることをし続けたいですし、周りの職員にも伝えたいと思います。
 2月2日(金)の支援者活動日報より



能登町松波地域で配送同乗をした人材開発部 佐原 貴之さん
 地震だけではなく津波の被害も多数見受けられ、車が田んぼの中まで流されていたり、船が何隻も陸地に押し上げられたりしていました。津波の被害を目の当たりにし、衝撃でしたし心が痛くなりました。この地域は、私も昔に少しだけ配送していた地域でもあったので、なおさら辛かったです。のとセンター・北部センターの職員が現場の最前線にいること、そこで毎日本当に頑張っているという事実を自部署で伝えたいです。心が折れそうになるときもたくさんあると思います。そんな中でも職員は元気に振る舞って同じ職員として尊敬します。のとセンター・北部センターの職員と同じ志を持って仕事をしていきたいです。
 のとセンター支援報告より

3月



珠洲市・輪島市・能登町担当 西村 武博さん
 先週まで通れなかった道が今日は通れるようになっていました。バックしたりUターンしたりをしなくてよくなったのでストレス無く配達できるようになりました。工事の方達の仕事に感謝です。少しずつですが普通に近付いている感じがします。長い道のりですが復興に向けてみんなが頑張っているのが分かります。
 3月7日(木)の振り返りシートより

金沢市の組合員さん
 週末を利用しては、志賀町の夫の生家の片付けに出かけていますが終わりが見えず、暗い気持ちに陥りがちです。そんなとき、とらいあんぐる3月号の「コープいしかわが取り組んだこと」を読みました。全国の生協から寄せられた、『頑張ろう』『負けないで』の寄せ書きに、力をもらったような気持ちでいっぱいになりました。前向きでしゃんとしなくちゃの心が出てきたのです。ありがとうございます！
 とらいあんぐるおたよりより

ユークープからの支援職員
 組合員さんとお話しさせていただき、「大変だけど前に進むしかないから頑張る」という強いお言葉をいただきました。まだまだ元通りになるには長い時間がかかりそうですが、テレビではわからない現状を地元に戻って伝えることで長い支援を続けていきたいです。
 3月11日(月)の支援者活動日報より

中能登町担当 梶川 真澄美さん
 1人暮らしの組合員さんから「時間があるならお茶1杯どお？」と誘っていただき少しお話ししてきました。「震災以来涙もろくなって、物忘れも始まって心配」と言われてましたが、今日は少しですがお話しして笑顔が見られました。
 3月8日(金)の振り返りシートより

七尾市の組合員さん
 もう3月になりましたね。断水も2か月半。本当に我慢の毎日でした。まだまだ断水している場所があり、心が痛みます。体に気を付けて一日一日頑張らなと思っています。
 とらいあんぐるおたよりより

